

リアル・アセット債券ファンド 円ヘッジありコース/円ヘッジなしコース (愛称:リアル・インカム)

【投信協会商品分類】 追加型投信/内外/資産複合

【設定日】 2018年4月20日

【決算日】 原則3月16日

運用実績

リアル・アセット債券ファンド 円ヘッジありコース

基準価額および純資産総額

基準価額	9,945円
純資産総額	5.08億円

※ 基準価額は、分配金控除後です。

期間別騰落率

	当ファンド
過去1ヵ月間	-0.34%
過去3ヵ月間	0.70%
過去6ヵ月間	-
過去1年間	-
過去3年間	-
過去5年間	-

設定来 -0.55%

※ ファンドの騰落率は、当ファンドに分配実績があった場合に、税引前の分配金を再投資したものと計算しており、実際の騰落率とは異なります。

※ 設定来のファンド騰落率は、10,000円を基準として計算しております。

分配実績(直近5期分/1万口当たり、税引前)

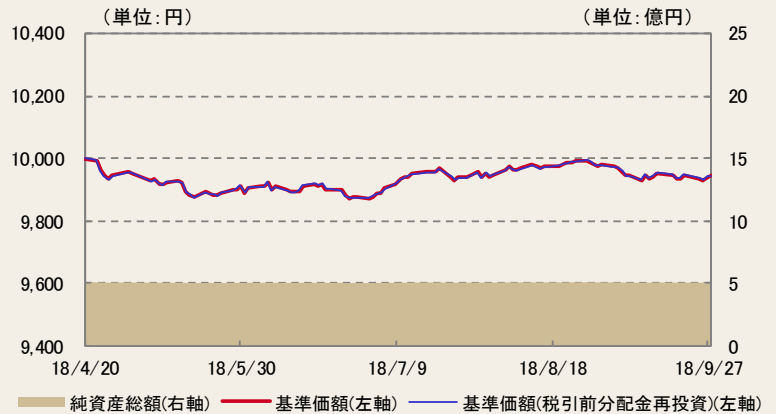
-	-
-	-
-	-
-	-
-	-
-	-
-	-
-	-
-	-
-	-

設定来累計 0円

※ 収益分配金額は委託会社が決定します。分配を行わないこともあります。

基準価額・純資産の推移

2018/04/20～2018/09/28



- ※ 基準価額(税引前分配金再投資)は、分配実績があった場合に、税引前の分配金を決算日の基準価額で再投資したものと計算しております(以下同じ)。
- ※ 基準価額及び基準価額(税引前分配金再投資)の計算において信託報酬(後掲「ファンドの費用」参照)は控除されております(以下同じ)。
- ※ 当ファンドは、ベンチマークを設定していません。
- ※ 分配実績がない場合、あるいは設定来累計の分配金額が少額の場合、基準価額及び基準価額(税引前分配金再投資)のグラフが重なって表示される場合があります。

構成比率

	純資産比
リアル・アセット債券マザーファンド	99.80%
コール・ローン等	0.20%

運用実績

リアル・アセット債券ファンド 円ヘッジなしコース

基準価額および純資産総額

基準価額	10,277円
純資産総額	5.25億円

※ 基準価額は、分配金控除後です。

期間別騰落率

	当ファンド
過去1ヵ月間	1.79%
過去3ヵ月間	3.75%
過去6ヵ月間	-
過去1年間	-
過去3年間	-
過去5年間	-

設定来 2.77%

※ ファンドの騰落率は、当ファンドに分配実績があった場合に、税引前の分配金を再投資したものと計算しており、実際の騰落率とは異なります。

※ 設定来のファンド騰落率は、10,000円を基準として計算しております。

分配実績(直近5期分/1万口当たり、税引前)

-	-
-	-
-	-
-	-
-	-
-	-
-	-
-	-
-	-
-	-

設定来累計 0円

※ 収益分配金額は委託会社が決定します。分配を行わないこともあります。

基準価額・純資産の推移

2018/04/20～2018/09/28



- ※ 基準価額(税引前分配金再投資)は、分配実績があった場合に、税引前の分配金を決算日の基準価額で再投資したものと計算しております(以下同じ)。
- ※ 基準価額及び基準価額(税引前分配金再投資)の計算において信託報酬(後掲「ファンドの費用」参照)は控除されております(以下同じ)。
- ※ 当ファンドは、ベンチマークを設定していません。
- ※ 分配実績がない場合、あるいは設定来累計の分配金額が少額の場合、基準価額及び基準価額(税引前分配金再投資)のグラフが重なって表示される場合があります。

構成比率

	純資産比
リアル・アセット債券マザーファンド	99.24%
コール・ローン等	0.76%

リアル・アセット債券ファンド 円ヘッジありコース／円ヘッジなしコース（愛称：リアル・インカム）

※以下の「ポートフォリオの状況」は、マザーファンドの運用会社であるコーヘン&ステアーズの情報をもとに作成しております。  
コーヘン&ステアーズの情報は米国における月末最終営業日の情報となります。

構成比率(マザーファンド)

	純資産比
公社債等	96.91%
事業債	53.16%
期限付劣後債	20.40%
永久劣後債	15.11%
優先証券	8.23%
コール・ローン等	3.09%

業種別構成比率(マザーファンド)

業種	純資産比
公益	45.7%
不動産	24.2%
通信	17.8%
その他	9.2%

ポートフォリオの状況(マザーファンド)

平均残存期間	7.6
修正デュレーション	6.6
平均終利	3.8%
平均直利	4.4%

※ コール・ローン等を除いて算出しております。  
※ 「ポートフォリオの状況」については、コーヘン&ステアーズが想定するコール日等を基に計算しております。  
※ 平均終利、平均直利は、ファンド組入銘柄等の利回りの加重平均等により算出したものであり、ファンド全体の期待利回りを示すものではありません。

国・地域別構成比率(マザーファンド)

国・地域	純資産比
アメリカ	65.6%
イギリス	9.5%
フランス	5.4%
デンマーク	4.5%
メキシコ	4.0%
その他	8.0%

格付別構成比率(マザーファンド)

	純資産比
A	12.9%
BBB	84.0%

通貨別構成比率(マザーファンド)

通貨	純資産比
アメリカ・ドル	54.9%
ユーロ	32.5%
イギリス・ポンド	9.5%

<ご参考>

為替ヘッジコスト(円ヘッジありコース)

1.92%

※ 為替ヘッジコストは、各通貨の3ヶ月フォワード・スプレッドを年率換算の上、加重平均により算出したものであり、実際の為替ヘッジコストとは異なります。

組入上位10銘柄(マザーファンド)

銘柄名	種類	通貨	クーポン(%)	評価単価	償還日	純資産比
1 TRANSCANADA TRUS 5.875%	期限付劣後債	アメリカ・ドル	5.875	101.68	2026/08/15	3.8%
2 ELEC DE FRANCE 6.0%	永久劣後債	イギリス・ポンド	6.000	102.24	2026/01/29	3.0%
3 ORSTED A/S 6.25%	期限付劣後債	ユーロ	6.250	116.13	2023/06/26	2.8%
4 BHP BILLITON FIN 5.625%	期限付劣後債	ユーロ	5.625	117.43	2024/10/22	2.6%
5 AMERICA MOVIL SA 6.375%	期限付劣後債	ユーロ	6.375	117.39	2023/09/06	2.6%
6 NGG FINANCE 5.625%	期限付劣後債	イギリス・ポンド	5.625	109.37	2025/06/18	2.5%
7 VERIZON COMM INC 1.375%	事業債	ユーロ	1.375	95.44	2028/11/02	2.4%
8 SOUTHERN CO 5.5%	期限付劣後債	アメリカ・ドル	5.500	100.59	2022/03/15	2.3%
9 DIGITAL EURO FIN 2.625%	事業債	ユーロ	2.625	105.35	2024/02/15	2.2%
10 TOTAL SA 3.369%	永久劣後債	ユーロ	3.369	104.62	2026/10/06	2.2%
組入銘柄数						75銘柄

## リアル・アセット債券ファンド 円ヘッジありコース／円ヘッジなしコース（愛称：リアル・インカム）

## ファンドマネージャーコメント

## ○投資環境

9月のリアル・アセット債券市場は、主要な国債市場の利回りが上昇（価格は下落）、国債対比のスプレッドはほぼフラットであったことから、同債券価格は前月末対比で下落しました。

米国・ドイツ・英国の国債債券市場の利回りは、原油価格の上昇や堅調な米国経済指標発表等を背景にインフレ期待が高まったこと等から、月初から上昇基調での推移となりました。

また為替市場については、投資する通貨が全て円に対して上昇しました。

## ○運用状況

当ファンドは不動産やインフラ関連などの実物資産を保有するリアル・アセット企業の発行する債券等に投資することで、相対的に魅力的なインカム収入が獲得できるポートフォリオの構築に努めています。

9月も概ね現状のポートフォリオを維持し、9月末時点での組み入れ銘柄の平均格付は BBB、ポートフォリオの平均最低利回りは 3.8% となっています。

## ○今後の見通し及び運用方針

足元のグローバルな経済環境は依然として良好であり、リアル・アセット債券に対して望ましい環境であると考えます。

主要な投資対象地域の見通しとしては、概ね変更はありません。米国においては堅調な労働市場と賃金上昇の兆しが緩やかにインフレに繋がり、FRB（米連邦準備理事会）による段階的な金融引き締め、金利の上昇が見込まれます。欧州においては、経済成長の減速や政治的な不安定さが、金融引き締めの実施を遅らせる可能性があると考えています。英国においては、EU（欧州連合）離脱に伴う経済成長鈍化の懸念があるものの、足元の労働市場や経済環境は底堅いと見ています。欧州や英国では、景気が鈍化しているにもかかわらず、原油価格の上昇や通貨の下落によりインフレ圧力が高まる可能性があります。

こうした環境下において、リアル・アセット企業の収益はインフレに強い性質があることから、企業ファンダメンタルズは下支えされると考えています。また、今後の金利上昇に対応できるよう、ポートフォリオの利回りを確保しつつ、デュレーションを短めに保つ予定です。

引き続き、リアル・アセット企業の発行する債券等を実質的な主要投資対象とし、安定したインカムゲインの確保をはかるとともに、中長期的な信託財産の成長を目指します。

（運用委託先からの情報を基に損保ジャパン日本興亜アセットマネジメントが作成）

リアル・アセット債券ファンド 円ヘッジありコース／円ヘッジなしコース（愛称：リアル・インカム）

ファンドの特色

- 1 主として世界各国（日本を含む）のリアル・アセット企業<sup>※1</sup>の発行する債券等<sup>※2</sup>に分散投資を行います。  
 ※1 リアル・アセット企業とは、長期にわたり、継続して安定したキャッシュフローを生成する資産を、保有している企業をいいます。  
 ※2 債券等には、期限付劣後債、永久劣後債、優先証券等を含みます。
  - 債券等の実質組入比率は、原則として高位を基本とします。
  - 投資する債券等の格付けは、取得時において、原則として、BBB-格相当以上とします。

- 2 マザーファンドにおける、債券等の運用指図に関する権限を、コーヘン&スティアーズ・キャピタル・マネジメント・インクに委託します。

コーヘン&スティアーズ・キャピタル・マネジメント・インクについて

コーヘン&スティアーズ・キャピタル・マネジメント・インクは1986年に不動産証券に特化した運用会社として設立され、ニューヨーク、ロンドン、香港、シアトル、東京に拠点を持っています。同社を中心としたグループの運用資産額は約615億米ドル（約6兆9,328億円）であり、不動産証券等の実物資産クラスに加えハイブリッド証券や大型バリューストックなどのインカム資産を含む専門性の高い資産クラスに特化した、グローバルな運用会社です。（2017年9月末現在）

- 3 「円ヘッジありコース」と「円ヘッジなしコース」があります。

円ヘッジありコース	原則として、対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクを低減する運用を行います。
円ヘッジなしコース	原則として、対円で為替ヘッジを行わないため、為替変動の影響を受けます。そのため、円安時の為替差益の獲得が期待できます（円高時は、為替差損が発生します。）。

投資リスク①

《基準価額の変動要因》

各ファンドの基準価額は、組入れられる有価証券等の値動き等による影響を受けますが、これらの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属いたします。したがって、投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託は預貯金とは異なります。

各ファンドの主なリスクは以下のとおりです。

※基準価額の変動要因は、以下に限定されるものではありません。

◆価格変動リスク

公社債の価格は、国内外の政治・経済情勢、金融政策等の影響を受けて変動します。一般に、金利が上昇すると、公社債の価格は下落します。組入れている公社債の価格の下落は、ファンドの基準価額が下落する要因となります。

◆信用リスク

有価証券の価格は、発行体の財務状態、経営、業績等の悪化及びそれらに関する外部評価の悪化等により下落することがあります。組入れている有価証券の価格の下落は、ファンドの基準価額が下落する要因となります。また、発行体の倒産や債務不履行等の場合は、有価証券の価値がなくなることもあり、ファンドの基準価額が大きく下落する場合があります。

◆流動性リスク

国内外の政治・経済情勢の急変、天災地変、発行体の財務状態の悪化等により、有価証券等の取引量が減少することがあります。この場合、ファンドにとって最適な時期や価格で、有価証券等を売買できないことがあり、ファンドの基準価額が下落する要因となります。

また、取引量の著しい減少や取引停止の場合には、有価証券等の売買ができなかったり、想定外に不利な価格での売買となり、ファンドの基準価額が大きく下落する場合があります。

## リアル・アセット債券ファンド 円ヘッジありコース／円ヘッジなしコース（愛称：リアル・インカム）

## | 投資リスク②

## ◆為替変動リスク

## ● 円ヘッジありコース

原則として、外貨建資産に対して、為替ヘッジを行います。全ての為替変動リスクを排除できるものではありません。また円金利よりも金利水準の高い通貨の為替ヘッジを行った場合、金利差に相当するヘッジコストが発生し、ファンドの基準価額が下落する要因となります。

## ● 円ヘッジなしコース

外貨建資産の価格は、当該外貨と日本円との間の為替レートの変動の影響を受けて変動します。為替レートは、各国の政治・経済情勢、外国為替市場の需給、金利変動その他の要因により、短期間に大幅に変動することがあります。当該外貨の為替レートが、円高になった場合は、ファンドの基準価額が下落する要因となります。

## ◆期限付劣後債、永久劣後債、優先証券等（ハイブリッド証券）への投資に伴う固有のリスク

## ● 弁済順位について

ハイブリッド証券は、一般的に法的な債務弁済順位は株式に優先し、普通社債より劣後します。発行体の倒産や債務不履行があった場合、他の優先する債権が全額支払われない限り、元利金の支払いを受けることができません。また、発行体の倒産や国有化などの場合には、ハイブリッド証券の価値が大きく下落すること、または価値がなくなることもあり、ファンドの基準価額が大きく下落する場合があります。

## ● 繰上償還について

ハイブリッド証券には、繰上償還条項が設定されているものもあります。発行体の著しい業績悪化、市況動向等により繰上償還が実施されない場合や、繰上償還されないと思込まれる場合には、ハイブリッド証券の価格が大きく下落することがあります。

## ● 利息・配当の支払いについて

ハイブリッド証券に利息・配当の支払い繰上条項がある場合、発行体の著しい業績悪化等により、利息または配当の支払いが繰り延べまたは停止される可能性があります。

## ● 元本の削減等について

実質破綻時損失吸収条項が付されている場合、この条項のついた劣後債の発行体が実質的に経営破たんした時には、たとえ劣後事由（一般的に、破産法の適用・会社更生法の適用・民事再生法の適用等を指します。）が生じていなくても元本の削減等が行われます。

## ● 制度変更等に関わるリスク

将来、ハイブリッド証券にかかる税制の変更や、当該証券市場にとって不利益な制度上の重大な変更等があった場合には、税制上・財務上のメリットがなくなるか、もしくは著しく低下する等の事由により、投資成果に悪影響を及ぼす可能性があります。

## 《その他の留意点》

## ● クーリングオフ制度（金融商品取引法第37条の6）の適用はありません。

● 収益分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、収益分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。収益分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。投資者のファンドの購入価額によっては、収益分配金の一部又は全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、収益分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

● マザーファンドに投資する別のベビーファンドの追加設定・解約等により、当該マザーファンドにおいて売買等が生じた場合等には、当ファンドの基準価額が影響を受ける場合があります。

詳細については、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。



リアル・アセット債券ファンド 円ヘッジありコース/円ヘッジなしコース (愛称:リアル・インカム)

お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位 ※ 詳細につきましては、販売会社までお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
購入代金	販売会社が定める日までにお支払いください。
換金単位	販売会社が定める単位 ※ 詳細につきましては、販売会社までお問い合わせください。
換金価額	換金請求受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した額
換金代金	換金請求受付日から起算して、原則として6営業日目からお支払いします。 換金の申込金額が多額であると判断した場合、取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、取引市場における流動性が極端に低下した場合、取引市場の混乱、自然災害、テロ、大規模停電、システム障害等により基準価額の算出が困難となった場合、その他やむを得ない事情により、有価証券の売却や売却代金の入金が遅延したとき等は、換金代金の支払いを延期する場合があります。
申込不可日	ニューヨーク証券取引所、あるいはニューヨークまたはロンドンの銀行の休業日においては、お申込みを受けられません。
申込締切時間	原則として午後3時まで（販売会社により異なる場合がありますので、詳細につきましては販売会社までお問い合わせください。）
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金請求を制限する場合があります。
購入・換金申込受付の中止及び取消し	委託会社は、購入・換金の申込金額が多額であると判断した場合、取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、取引市場における流動性が極端に低下した場合、取引市場の混乱、自然災害、テロ、大規模停電、システム障害等により基準価額の算出が困難となった場合、その他やむを得ない事情があると判断したときは、購入・換金の受付を中止すること、及び既に受付けた当該申込みの受付を取り消すことができるものとします。
信託期間	平成35年3月15日まで（設定日 平成30年4月20日） ※ 委託会社は、信託約款の規定に基づき、信託期間を延長することができます。
繰上償還	各ファンドの受益権の残存口数が10億口を下回ることとなった場合、繰上償還することが受益者のため有利であると認めるとき、またはやむを得ない事情が発生したときは、繰上償還させることがあります。
決算日	原則、3月16日（休業日の場合は翌営業日）※初回決算日は、平成31年3月18日です。
収益分配	毎決算時（年1回）、収益分配方針に基づいて収益の分配を行います。 ※ 分配金を受取る一般コースと、分配金を再投資する自動けいぞく投資コースがあります。 販売会社によっては、どちらか一方のみのお取扱いとなる場合があります。 各コースのお取扱いにつきましては、販売会社までお問い合わせください。
信託金の限度額	リアル・アセット債券ファンドの合計で3,000億円
公告	委託会社のホームページ（ <a href="http://www.sjnk-am.co.jp/">http://www.sjnk-am.co.jp/</a> ）に掲載します。
運用報告書	原則、毎決算時及び償還時に、交付運用報告書を作成し、あらかじめお申し出いただいたご住所に販売会社を通じて交付します。
課税関係	課税上は株式投資信託として取扱われます。公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。配当控除、益金不算入制度の適用はありません。

●税金

- ・税金は表に記載の時期に適用されます。
- ・以下の表は、個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。

時期	項目	税金
分配時	所得税及び地方税	配当所得として課税 普通分配金に対して20.315%
換金（解約）時 及び償還時	所得税及び地方税	譲渡所得として課税 換金（解約）時及び償還時の差益（譲渡益）に対して20.315%

※ 少額投資非課税制度「愛称NISA(ニーサ)」をご利用の場合

毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得及び譲渡所得が一定期間非課税となります。ご利用になれるのは、販売会社で非課税口座を開設するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

※ 法人の場合は上記とは異なります。

※ 税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

リアル・アセット債券ファンド 円ヘッジありコース/円ヘッジなしコース (愛称:リアル・インカム)

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用			
購入時手数料	購入価額に <b>2.16% (税抜2.0%)</b> を上限として販売会社が定めた手数料率を乗じた額です。 ※ 詳細につきましては、販売会社までお問い合わせください。	販売会社によるファンドの商品説明・投資環境の説明・事務処理等の対価	
信託財産留保額	換金請求受付日の翌営業日の基準価額に <b>0.15%</b> を乗じた額です。		
投資者が信託財産で間接的に負担する費用			
運用管理費用 (信託報酬)	各ファンドの日々の純資産総額に対して <b>年率1.2204% (税抜1.13%)</b> を乗じた額です。 運用管理費用 (信託報酬) は、毎日計上され、毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のときに、各ファンドから支払われます。	運用管理費用 (信託報酬) = 運用期間中の基準価額 × 信託報酬率	
	委託会社	年率0.60% (税抜)	ファンドの運用の対価
	販売会社	年率0.50% (税抜)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
	受託会社	年率0.03% (税抜)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行等の対価
※ 委託会社の報酬には、マザーファンドの運用指図に関する権限を委託したコーヘン&スティアーズ・キャピタル・マネジメント・インクへの投資顧問報酬が含まれます。投資顧問報酬の額は、各ファンドの信託財産に属するマザーファンドの時価総額に当該計算期間を通じ、毎日、年率0.40%を上限とした料率を乗じた額とします。〔ファンドの運用の対価〕			
その他の費用・手数料	以下の費用・手数料等が、ファンドから支払われます。 ● 監査費用 各ファンドの日々の純資産総額に定率 (年0.00432% (税抜0.0040%)) を乗じた額とし、実際の費用額 (年間27万円 (税抜25万円)) を上限とします。なお、上限額は変動する可能性があります。 ● その他の費用※ 売買委託手数料、外国における資産の保管等に要する費用、信託財産に関する租税等 ※ 「その他の費用」については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 監査費用： 監査法人に支払うファンド監査にかかる費用</li> <li>● 売買委託手数料： 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料</li> <li>● 保管費用： 有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用</li> </ul>	

※ 当該手数料等の合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間、売買金額等に応じて異なりますので、表示することができません。

●委託会社受賞歴



損保ジャパン日本興亜アセットマネジメントはR&Iファンド大賞2018の「投資信託/総合部門」において外国債券総合「優秀賞」を受賞しました。

「R&Iファンド大賞」は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報 (ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません) の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務 (信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務) です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。「投資信託/総合部門」の各カテゴリーは、受賞運用会社の該当ファンドの平均的な運用実績を評価したもので、受賞運用会社の全ての個別ファンドについて運用実績が優れていることを示すものではありません。

## ●販売会社（順不同、○は加入協会を表す）

販売会社名	区分	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融 商品取引業協会	備考
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○	

## &lt;備考欄の表示について&gt;

- ※1 記載の日付より新規お取扱いを開始します。
- ※2 記載の日付以降の新規お取扱いを行いません。
- ※3 新規のお取扱いを行っていません。

## &lt;ご留意事項&gt;

- ・上記掲載の販売会社は、今後変更となる場合があります。
- ・上記掲載以外の販売会社において、お取扱いを行っている場合があります。
- ・詳細は販売会社または委託会社までお問い合わせください。

## ●委託会社・その他の関係法人

委託会社	ファンドの運用の指図を行います。 損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者（関東財務局長（金商）第351号） 加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会 ホームページ： <a href="http://www.sjnk-am.co.jp/">http://www.sjnk-am.co.jp/</a> 電話番号： 0120-69-5432 ●クライアントサービス第二部
受託会社	ファンドの財産の保管及び管理を行います。 三井住友信託銀行株式会社 （再信託受託会社：日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社）
販売会社	受益権の募集の取扱、販売、一部解約の実行の請求の受付、収益分配金の再投資ならびに収益分配金、償還金および一部解約金の支払等を行います。

## 当資料のご利用にあたっての注意事項

- ◆ 当資料は、損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント株式会社により作成された販売用資料であり、法令に基づく開示書類ではありません。当ファンドの購入のお申込みの際には販売会社より投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡しいたしますので、必ずお受け取りの上、詳細は投資信託説明書（交付目論見書）をご確認ください。
- ◆ 当ファンドは、値動きのある証券に投資しますので、基準価額は大きく変動します。また、外貨建て資産に投資する場合には、為替リスクがあります。投資信託は、リスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって、元本が保証されているものではありません。
- ◆ 信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様には帰属します。投資に関する最終決定はご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。
- ◆ 投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- ◆ 登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
- ◆ 当資料に記載されているグラフ・数値等は過去の実績を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。分配金に関しては、運用状況によっては、分配金額が変わる場合、或いは分配金が支払われない場合があります。
- ◆ ファンドマネージャーのコメント、方針、その他の予測数値等については、作成時点での投資判断を示したものであり、将来の市況環境の変動等により、当該運用方針やその他予測数値等が変更される場合があります。また、記載した内容は、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。
- ◆ 当資料に記載されている各数値は四捨五入して表示していることがありますので、誤差が生じている場合があります。
- ◆ 当資料に記載されている各事項につきましては、正確性を期しておりますが、その正確性を保証するものではありません。当資料に記載の当社の意見等は予告なく変更することがあります。